



4月5日 保育所入園の会

今年は10名の子どもたちが新たに
入園しました。
園児がドキドキと緊張している中、
やさしい保育士さんがなるシカくんの
メダルをかけてくれました。

2022
No.48

令和4年5月1日発行

3月定例会

- 令和4年度当初予算を可決 一般会計 前年度比1.5%増 …… P2~3
- 新年度 議会が注目する事業はこれだ!! …… P4~5
- 当初予算をチェック! …… P6~7
- 3月定例会で決まったこと …… P8~11
- 委員会活動 …… P12
- 一般質問 村政を問う!! …… P13~14
- 議会だよりモニター通信 …… P15
- 村民の声「鳴沢良いところ、暮らしてわかった!」 …… P16



子育て環境にICTを導入へ

3月定例会

会期：3月11日～18日（8日間）

※ICT

インターネットを活用した
情報交換等の技術。

今定例会では、令和4年度の事業と予算を決定する当初予算をはじめ、令和3年度補正予算、各種条例改正、村道路線の認定・廃止、人事案件など合計24議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

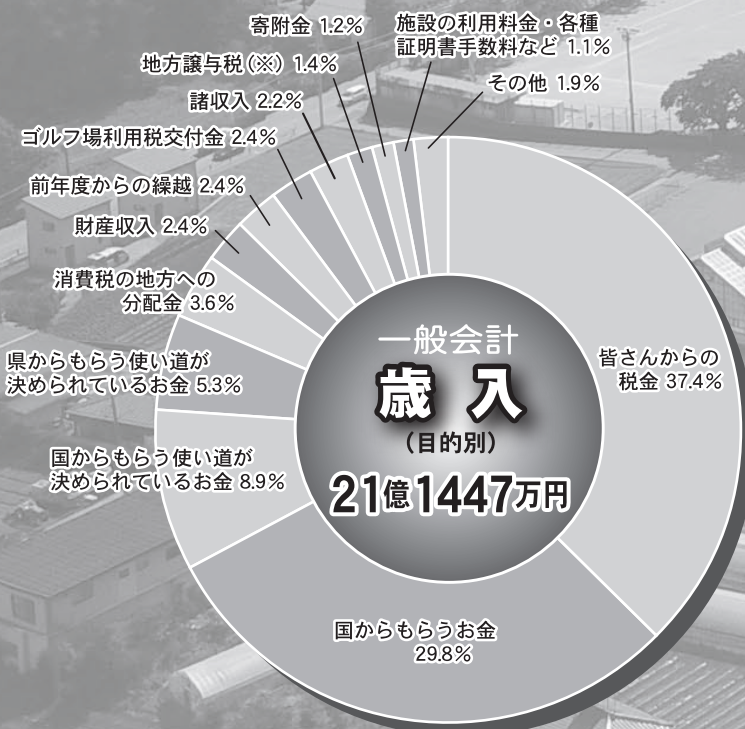
当初予算の審議では、保育所へ業務支援アプリの導入や総合センターのWi-Fi環境の整備、移住する方への補助金、転入する夫婦への住宅資金の補助、道の駅で電気自動車急速充電器の入替工事、くらし応援商品券の発行、高齢者外出支援、第一区が行う春日神社補修工事への補助などが可決されました。（詳細P4～5）

最終日には一般質問に2名の議員が登壇

し、SDGsの推進の取り組みや転入超過の評価及び今後の対応など、様々な角度から村の姿勢を問い質しました。（詳細P13～14）

また、今定例会より議員の議案等閲覧用としてタブレット端末が導入されました。印刷された議案を併用するかたちでの導入となりましたが、タブレット端末による議案の閲覧はページの遷移もスムーズで、議員からは「思った以上に閲覧しやすくして便利だった」と好評でした。

今後は議員には印刷した議案等を配布せず、利便性の向上だけでなく紙資源の削減や職員の議案作成等の負担軽減につなげていきたいと思っております。



※地方譲与税

国税として徴収した特定の税目の収入の全額又は一部を、地方公共団体に譲与するもの。

令和4年度 当初予算を

可決

総額30億2331万円 のむらづくり

(万円未満四捨五入)

一般会計 21億 1447万円
特別会計 9億 884万円

前年度比 1.5% (3177万円) 増
前年度比 4.8% (4180万円) 増

一般会計のおもな歳入

- ◆村 税 7億 9071万円
- ◆地方交付税 6億 3012万円
- ◆国庫支出金 1億 8903万円
- ◆県支出金 1億 1286万円

一般会計のおもな歳出

- ◆保育所に業務支援ツール導入 221万円
 - ◆移住支援金事業費補助金 190万円
 - ◆定住促進新築住宅等購入支援事業 100万円
 - ◆電気自動車急速充電器入替工事 527万円
 - ◆くらし応援商品券発行事業 3356万円
 - ◆高齢者外出支援事業 89万円
 - ◆春日神社補修工事補助金 932万円
- (詳細P4~5)

昨年度同様、積極的に国・県支出金などの特定財源(※)を活用しています。

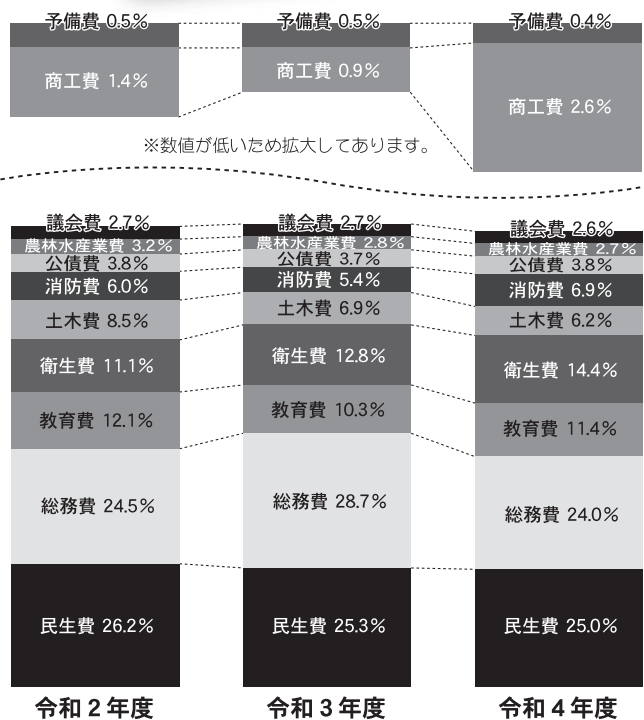
※特定財源

使い道が決まっている財源のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金などのこと。

令和4年度一般会計・特別会計予算額

会計名	予算額	増減率 (前年度比)
一般会計	21億 1447万円	1.5%
特別会計	国民健康保険	4億 333万円 △0.5%
	簡易水道事業	1億 1308万円 19.3%
	介護保険	3億 3741万円 7.4%
	介護予防支援事業	99万円 △73.8%
	後期高齢者医療	5403万円 10.9%
合計	30億 2331万円	2.5%

一般会計予算の推移



予算推移の分析

一般会計の支出分類からみると、衛生費が、新型コロナウイルスワクチン予防接種事業や簡易水道事業特別会計繰出金の増額により増加しております。

その他、商工費がくらし応援商品券発行事業、消防費は消防本部新庁舎建て替え工事による負担金の増額、教育費は春日神社補修工事に伴う補助金により、いずれも増加しております。

民生費の占める割合は依然として高く、自立支援給付(※)助成事業費など、福祉・医療費に大きな予算が見込まれています。

一方で、総務費が道の駅なるさわ浄化槽改修工事の完了などにより減少しております。

※自立支援給付

障害者総合支援法に基づき、利用するサービス費用の一部を障害のある方へ個別に給付するもの。

新年度

議会が注目する事業はこれだ!!

令和4年度予算に盛り込まれた注目事業を一部取り上げました。



くらし応援商品券 1人1万円を配付

3356万円

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売上げが減少している村内事業者及び村民の生活を支えるため、国の交付金を活用して鳴沢村・富士河口湖町の取扱店舗で利用可能な商品券が1人あたり1万円配付されます。

(この画像はイメージです)



保育所に 業務支援アプリ導入

221万円

保育ICT化の一環として、保護者と保育所がアプリを通じてスマートフォン等で連絡のやり取りができる等の業務支援アプリが導入されます。

(この画像はイメージです)



鳴沢村への移住・ 就職に支援金を支給

190万円

東京圏から移住し5年以上居住する方で山梨県で就職し移住する方、テレワークで移住する方等を対象に単身には60万円、世帯には100万円の支援金と子ども1人あたり30万円が今年度より追加支給されます。

(この画像はイメージです)



転入する夫婦の 住宅新築・購入へ補助金を支給 **100万円**

45歳以下の夫婦が転入し、住宅を新築もしくは購入する際に、30万円の補助金が支給されます。また、子どもがいる方には子ども1人あたり10万円が加算されます。



電気自動車 急速充電器を入替え **527万円**

急速充電器のメーカー撤退により保守ができなくなったため、国の補助金を活用し急速充電器が入れ換えられます。

(この画像はイメージです)



高齢者へ バス定期券・タクシー券の助成 **89万円**

運転免許証を所持していない(返納した)高齢者の交通手段の確保等を目的に、バス定期券及びタクシー利用料金の一部が助成されます。



春日神社の 改修工事に補助金 **932万円**

村の指定有形文化財である春日神社が経年劣化等により腐食が進み、倒壊等の恐れがあるため、鳴沢村第一区による改修工事が実施され、村からは工事費の75%が補助されます。

※金額は当初予算額です。

当初予算をチェック!

おもな議論を紹介します

予算決算常任委員会

委員長 三浦 雄一郎

予算決算常任委員会に付託された令和4年度当初予算案について、3月16.17日に委員会を開催し審査した結

果、いずれも賛成全員にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

道路維持補修寄附金

問 佐藤博水 この寄附金の詳細は。

答 総務課長 富士観光開発(株)からいただいている寄附金でふじてんスキー場開業以降の交通量増加に伴う大坂道の維持補修を目的としたもの。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少のため、令和2年度、3年度は寄附金を辞退している。

屈折検査機器の購入

問 渡邊明雄 屈折検査機器は医療用機器だと思われるが、運用するために何か資格が必要なのか、また、だれが、どういった時に使用するのか。

答 福祉保健課長 運用は、看護師の資格を持っていればできるため、保健師が対応する。3歳児健診の際、弱視早期発見のため使用するもので、小さい機器を目に1、2秒あてるだけで簡単に検査できる。

※屈折検査

遠視・近視・乱視といった屈折の種類や眼のピントが合う度数を測定する。

保育業務支援アプリの導入

問 土屋文明 補助金を活用した保育業務支援アプリはいつ頃導入する予定なのか。

答 住民課長 運用開始時期は未定。通信環境の調査やアプリ利用にあたっての運用指針の検討、保護者の同意を得るなどの課題点を解消してから導入となる見込み。

6年生富士山学習ガイド

問 小林昭一 6年生富士山学習ガイドの詳細は。開催は何回予定しているのか。

答 教育課長 開催は1回を予定。事業内容は、小学校から馬返しまでバスで送迎し、そこからネイチャーガイド3名をつけて植物形態や環境問題、富士山火山防災といった学習を行いながら5合目まで徒歩で行き、5合目からバスで学校へ戻るといった内容。

紅葉台萬葉の歌碑周辺等の草刈り

問 渡辺次男 紅葉台萬葉の歌碑周辺等の草刈りはなぜ不要となったのか。

答 企画課長 紅葉台萬葉の歌碑周辺草刈りについては、東海自然歩道のパトロールを委託している方が草刈りを行うこととなり、鳴沢溶岩樹型付近草刈りは職員で対応するため。

埋蔵文化財の試掘調査

問 三浦直樹 埋蔵文化財の試掘調査にあたっての重機及びオペレーター委託の詳細は。

答 教育課長 鳴沢村内に埋蔵文化財が埋蔵されている可能性がある地域があり、道路工事を含め、家の建築等行う場合は、県と協議の結果、試掘しなければならないことがある。その際、地元の土木業者に委託する。

問 三浦直樹 その地域は具体的にどこにあるのか。

答 教育課長 村内に点在しており、国道から北側の山までの間に多くみられる。北側の山ぎわで、縄文時代から人が住んでいたと思われる所が指定されている。国道から南側にはない。

総合センター 落石防護柵設置・小屋撤去工事

問 渡辺正人 総合センターを背にして右手にみえる山の斜面を子どもたちが遊んでいて危ないが、その辺りを対策するのか。

答 教育課長 そのとおり。令和3年度で小屋の手前まで落石防護柵を設置してあるが、令和4年度は小屋を撤去する部分について柵を設置し、安全を確保する。

ロードレース大会の感染症対策

問 渡辺正人 感染症対策消耗品費40万円とあり、これは感染症拡大を防ぐための対応として物品が必要なためと思われるが、参加条件にワクチン接種や事前検査をするなどの対策は考えているか。

答 教育課長 感染状況にもよるが、他の大会では抗原検査や事前に自分の健康をチェックし、大会ホームページにある健康管理システムに登録するなど対策している。接触機会を減らすため、事前受付や参加人数を少なくするなど検討し、開催できる状況であれば実施する。

配水管布設替工事に伴う耐震化率

問 渡辺次男 村の耐震化率は13.9%であると記憶しているが、令和4年度配水管布設替工事を実施すると配水管の耐震化率はどの位向上するのか。

答 振興課長 耐震化率13.9%は令和2年度の数字となっているが、令和3年度、令和4年度の布設替工事の延長を加味すると2.8%増の16.7%となる。

20件の質疑がありましたが、その内の9件を掲載しています。

村当局には、厳しい財政状況のなか創意工夫をこらし、審査の過程で委員より出された質疑・意見を予算執行に活

かし、令和4年度も健全な財政運営を行うよう求めました。

令和3年度 補正予算

3億1387万円を増額し、予算総額は34億8620万円に

令和3年度各会計予算総額から3億1387万円を増額し、全会計の予算総額は34億8620万円となりました。

一般会計歳出については、村道I-1号線(原の道)の一部区間について、舗装修繕工事の測量設計費1140万円などを追加し、年度末までに見込まれる不用額を減額しました。

歳入歳出の差額で発生する余剰金等4億3969万円については、今後予想される老朽化したインフラ施設等の更新に備え、公共施設建設基金(*)に積み立てられます。

会計名	補正額	予算総額	
一般会計	3億3641万円	26億1406万円	
特別会計	国民健康保険	△254万円	4億439万円
	簡易水道事業	△85万円	9668万円
	介護保険	△1875万円	3億1626万円
	介護予防支援事業	-	376万円
	後期高齢者医療	△40万円	5107万円
合計	3億1387万円	34億8620万円	

(万円未満四捨五入)

※公共施設建設基金

公共施設の建設や公有地取得等に要する財源を積み立てるための基金。

会議規則改正

議会への欠席事由として出産・育児・看護・介護などを規定

鳴沢村議会会議規則の一部改正

標準町村議会会議規則の一部改正により、議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母体保護の観点から産前・産後の欠席期

間が規定されたこと、また、議会への請願手続きについて押印の義務付けを見直すこととされたことに伴い、所要の改正を行いました。



おもな条例改正等

鳴沢村職員の特別休暇の基準に不妊治療休暇 5日間を追加

鳴沢村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

人事院規則の一部改正に伴い、
一般職員が不妊治療のため休暇す

る際、特別休暇5日間を追加する
改正を行いました。

(担当:総務課)

鳴沢村職員の育児・介護休業取得要件を緩和

鳴沢村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

法令の改正に伴い、有期雇用労働
者の育児・介護休業取得要件の緩和
の措置が講じられ、育児休業を取得
しやすい雇用環境整備及び妊娠・出

産の申出をした労働者に対する個別
の周知・意向確認の措置が義務付け
られたことから、所要の改正を行
いました。

(担当:総務課)

固定資産評価審査委員会条例手続きの押印廃止

固定資産評価審査委員会条例の一部改正

内閣府からの行政手続きにおける押
印の見直し方針を受け、鳴沢村行政
手続きにおける押印等の見直し洗い出

し調査に基づいて業務プロセスの効
率化を図るため、申出書や調書等の
押印を省略する改正を行いました。

(担当:総務課)

健康増進計画策定委員会委員などの報酬を規定

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び 費用弁償に関する条例の一部改正

本条例の別表1を改正し、
健康増進計画策定委員会委員
の報酬を日額3500円、予防接

種健康被害調査委員会委員の
報酬を日額15000円と定めま
した。

(担当:福祉保健課)

特定石綿被害建設業務労働者等に対して 戸籍を無料で証明

鳴沢村手数料徴収条例の一部改正

特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律の公布に伴い、給付金等の支給を受

けようとする者の戸籍に関し、無料で証明を行うことができるようにするため、所要の改正を行いました。

(担当:住民課)

国民健康保険税の未就学児に係る被保険者 均等割額を減額

鳴沢村国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正により、国民健康保険税の賦課限度額が引き上げられ、また、未就学児に係る被保険者

均等割額を減額し、子育て世帯への経済的負担を軽減する政令が公布されたことに伴い、所要の改正を行いました。

(担当:住民課)

人事

教育長の渡辺 伸一氏が3月31日に辞職することに伴い、新教育長として次の方の任命に同意しました。
任期は2年間となります。

小林 茂澄 氏



富士・東部広域環境事務組合議会議員選挙

今年2月に設立された富士・東部広域環境事務組合議会の本村選出議員1名について、地方自治法の規定により選挙を行いました。

選挙は議長の指名推選により行われ、次の方が当選されました。

佐藤 博水 氏



選挙管理委員会(※)委員が3月31日で任期満了となるため、地方自治法の規定により、委員の選挙を行いました。

選挙は議長の指名推選により行われ、次の方が当選されました。

なお、4月1日に選挙管理委員会臨時会が開催され、委員長などの役職が決定しました。

任期は4年間となります。



委員長 今井 俊朗 氏



委員長職務代理者 渡辺 久市 氏



委員 渡邊 秀俊 氏



委員 三浦 正作 氏

※選挙管理委員会

公正な選挙を行うため、首長から独立した機関として置かれる行政委員会、選挙人名簿・在外選挙人名簿の登録をはじめ、各種選挙に関する事務、最高裁判所裁判官国民審査に関する事務などを行う機関。

選挙管理委員会委員補充員(※)が3月31日で任期満了となるため、地方自治法の規定により、委員補充員の選挙を行いました。

選挙は議長の指名推選により行われ、次の方が当選されました。

- 第1順位 渡辺 傳 氏
- 第2順位 渡辺 友明 氏
- 第3順位 渡邊 正幸 氏
- 第4順位 志村 教雄 氏

任期は4年間となります。

※委員補充員

選挙管理委員会委員に欠員が生じたとき、委員となる立場の方。

総務教育厚生常任委員会

委員長
佐藤博水

3月4日に総務教育厚生常任委員会を開催し、村民の新型コロナウイルスワクチンの接種状況の確認や、鳴沢村消防団の課題と対策案についての協議を実施しました。

◆新型コロナウイルスワクチンについて

本村において2月から開始された新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の接種状況や、5歳から11歳まで子供たちへのワクチン接種の予定などについて、福祉保健課長より説明を伺い、意見交換を行いました。

◆鳴沢村消防団の課題と対策案について

昨年12月7日に実施した消防団との座談

会で挙げられました、課題と対策案等について意見交換を行い、課題の解決に向けて行政と消防団それぞれに対応していただきたい事項などを整理し、提言することを決定しました。

なお、決定に基づき下記の項目をとりまとめ、3月30日付けで役場総務課と消防団の各分団に対策案等を提案した通知を提出いたしました。

- ①消防団のイメージ改善（村広報誌でのPR）
- ②団員やその家族への優遇措置の検討
- ③人員不足を補うための訓練や点検・作業等の負担軽減
- ④報酬等の見直しの検討
- ⑤班構成の再編成や組織体制整備の検討

建設産業経済常任委員会

委員長
渡辺次男

3月8日に、建設産業経済常任委員会を開催し、継続的に協議しております、道の駅リニューアルや村道除雪事業の状況把握等についての意見交換を行いました。

◆道の駅リニューアルについて

2月21日に開催した「道の駅専門部会」での協議事項及び今後の予定等について、委員長からあらためて報告し、意見交換を行い、指定管理者であるJA鳴沢村の意向確認のため、必要に応じて委員会に出席してもらうことも検討することといたしました。

◆村道除雪事業の状況把握について

協議に先立ち、振興課長より、鳴沢村の除雪体制の現状や、除雪委託費の算定方法や近隣市町村との比較、平成30年度から増額した経緯等について説明いただきました。

そのあと、最近の原油高騰の影響を鑑み、今後も鳴沢村の除雪体制が確保できるよう村道除雪事業の意見交換を行いました。





渡辺 次男 議員

Q 転入超過の評価と 今後の対応は

A 子育て世代を中心とした 移住者の獲得

2021年の人口移動報告によると、県全体では686人、鳴沢村でも24人転入者が転出者を上回った。

本村として24人の転入超過をどのように捉えているか、また、新たな施策等の考えは。

●村長 小林 優

人口移動報告は、1月から12月までの転入・転出超過数の公表で、2021年の鳴沢村では転入者131人に対して転出者107人で、24人の転入超過となった。

転入超過の主な要因は、新型コロナウイルスの感染が広がる都市部から村内の別荘地に身を寄せる動きが広まったことが考えられる。

富士桜高原別荘地を管理する富士観光開発によると、別荘で過ごす人が急増し、例年の2倍を超える利用率とのことであった。このことから、二拠点居住など新たな生活様式に変わってきていると思う。

昨年の4月1日より国の移住支援金の対象にテレワーク要件が追加された。この補助金は国1/2、県1/4、村1/4の負担割合で、2人以上の世帯に100万円、単身者には60万円を支給する制度で、

本村でも既に補助金100万円、1件交付している。また、この移住支援金は、今年4月1日から子供1人当たり30万円が追加加算される。

鳴沢村でも令和4年度から、人口の増加と定住を促進し地域の活性化を図るため、村内に定住するための住宅を取得する若者世帯に対して、定住促進新築住宅等購入支援事業補助金を創設する。この補助金の対象者は、村外から村に転入される配偶者を有する方で、夫婦共に45歳以下の方が対象で、補助金額は基本額30万円、18歳未満の子供1人につき10万円加算する。

そのほか、村のホームページに移住・定住ページを設け三世帯同居等支援事業をはじめとした各種住宅支援事業、特色ある子育て関連事業や環境、移住してきた方々へのインタビュー記事等を積極的に情報発信し子育てしやすい村を紹介して「子育て世代」を中心とした移住者の獲得を目指す。





土屋 文明 議員

SDGsとは、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際目標である。2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標とそれを実現するための169のターゲットを掲げ、誰1人取り残さない社会の実現を目指している。SDGs推進が経済、社会、環境、この3つがバランスよく成立した社会が持続可能な社会であるという姿勢である。国では、SDGsを原動力とした地方創生を提唱し、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定において、SDGsの取組を盛り込むように促している。誇らしいことに当村では2017年に県内を先駆け、6市町村としていち早くSDGsの推進に言及した。他の市町村でも、総合戦略のSDGs推進のため、大手企業より職員派遣を受入れ、職員150名全員に勉強会を実施し、持続可能なまちづくりを進め始めていたり、住民対象の教養講座に「SDGs入門編」を設けたり、啓蒙活動を開始している。これからの鳴沢村の未来のために、村民と共に地方創生を実現するために、SDGsの具体的な取組はあるか。

Q SDGsの推進の具体的な取組について

A SDGsの考え方を各種事業に取り入れていく

●企画課長 渡邊 英博

鳴沢村においては人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり心地よく健やかに暮らせるまちづくりを目指して、この取組に共通する部分が多く、SDGsの考え方を踏まえた施策の推進を行っている。総合戦略においては、基本目標に17の目標を紐づけ、現在作成中の長期総合計画の後期基本計画では、分野別目標に17の目標を関連づけて施策を推進していく予定である。総合計画や総合戦略で取り組む方向性は、国際社会全体の開発目標であるSDGsの目指す17の目標とスケールは違うものの、その目指すべき方向性は同様であることから、総合計画や総合戦略の推進を図ることでSDGsの目標達成に資するものと考えられる。SDGsの基本的な考え方を各種事業に取り入れていき、「心地よく健やかに暮らせるためにみんなで作る鳴沢村」を村の将来像として村づくりを進めていく予定である。



小学校でほぼ毎月一回実施している資源物回収

議会だよりモニターの皆さまから、2月発行の議会だよりNo47について、次のようなご意見等をいただきました。皆さまからのご意見を参考に、今後もよりよい議会だよりを作っていきたいと思っております。

表紙の写真「雪のお布団気持ちいいな？」雪の中で楽しそうに遊んでいる子供たちの表情に元気を分けていただきました。

世界では戦争や終息の見えないコロナウイルスで暗いニュースが多いですが安心して暮らせる日々が戻ってくることを切に願っております。

(40代 男性)

子供たちの素顔を見なくなってもう2年以上になるでしょうか。

私も妻もこのところ子供たちの素顔を見ていません。

せめて議会だよりの表紙でお願いし、また子供たちの笑顔に出会う事ができました。ありがとうございます。

子供は宝です。その宝をいつまでも表紙に。

(80代 男性)

地震が起こるたびに災害への意識が高まり、浄化槽改修や、急傾斜地崩壊対策などの災害対策の記事に興味を持てます。

消防団の活動は、住民として頭が下がる思いです。

水利の除雪作業はみんなが協力して行い少しでも負担を軽減できればと思います。

(30代 女性)

わが家の近くにも消火栓があり、雪の時は除雪に来る団員さんに感謝しています。若い方々が消防団に興味を持ち、積極的に参加できるように工夫をされている様子が良くわかりました。

(70代 男性)

人口対策の議題で、令和元年と2年の平均出生率が1.4人とあり、我が子の30人と比べると同級生が1.4人前後は寂しく思います。

企業誘致だけでなく、子育て環境が充実している鳴沢村の良さを県外や県内の子育て世代にも発信していただけたらと思いました。

(40代 女性)

運転免許返納後の高齢者支援について書いてありましたが、路線バス又はタクシーの利用料の一部を助成する方法よりも富士吉田市みたいな病院や買い物先への無料の巡回バスが出来れば良いなと思いました。

(20代 男性)

議会要望事項の回答について村の状況、考え方が分かり参考になりました。検討することが多く大変だと思いますが村のために期待しています。消防団の記事についてですが、旦那さんが現在も所属しており、いつになったら退団できるのか不安です。

(30代 女性)

モニターになり、1年が経過しました。他の市町村の議会だよりと比べ、文字が少なく、写真もうまく使いレイアウトが良く、とても読みやすく親近感がある内容だと感じました。まずは読んでもらうこと、知ってもらうことが大切だと思います。

(50代 男性)

山梨県広報コンクールにおいて素晴らしい受賞、おめでとうございます。

今後ますますのご活躍を期待しております。頑張ってください。

モニターとしていい経験をさせていただきました。皆様に感謝いたします。

議会だより大好きです。鳴沢村大好きです。

(70代 女性)

令和4年3月31日をもって、モニターの皆さまの任期が満了となりました。

今回で任期を終えられたモニターの皆さまには厚く御礼申し上げます。

いただいたご意見を反映したNo.45の「2年間を振り返って」の誌面は高い評価をいただき、山梨県広報コンクールでの初めての優秀賞受賞につながりました。

モニターの皆さま、大変お疲れさまでした。

ご協力ありがとうございました。

鳴沢良いとこ、暮らしてわかった!

瀬子 義幸

定年退職を機に、憧れの薪ストーブライフを始めるべく小さな中古別荘を手に入れ、2014年に鳴沢村に引っ越してきました。元の職場の嘱託の仕事をしながらのスタートでしたが、1年後に同居する母親の介護が始まりました。デイサービスやショートステイのお世話になりながらの自宅介護、特養への入所を経て2019年に母を96歳で看取るまで、村役場の職員の皆さんをはじめ多くの方々に助けられました。小さな村だからこそのお互いに顔の見え



る良い関係も感じました。皆さんの親切な対応に大変感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。



私の居住地域には、標高約1,200mにある井戸から汲み上げた富士山の地下水が村の簡易水道水として供給されています。この水が美味しくて、炭酸水や氷を作ります。富士山麓で作られたお気に入りのウィスキーを富士山グラスに注いで、ハイボールやオンザロックにします。冷え込む冬の夜は、薪ストーブのゆらめく炎を眺めながら至福のひとときを過ごしています。

広報常任委員推薦! 鳴沢のおすすめ!

広報常任委員
渡辺 次男

こうしんとう・しょうめんこんごう
「庚申塔・青面金剛」



鳴沢歩道橋北側に、地域の平穏無事を祈願した石祠があります。

平成6年9月、有志9名により建立されました。毎年9月17日には地域の方々により、山道祭りが執り行われています。

庚申信仰とリニューアルされた鳴沢バス停を見学してみたいいかがでしょうか。



総務教育厚生常任委員会より

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてからはや2年以上が経過しましたが、ウイルスは変異を繰り返し、未だ収束する気配は見えません。

年明け以降、新規陽性者数の高止まりが続いています。

全国で3回目のワクチン接種が開始されていますが、それでも感染してしまうケースも少なくありません。

◆家庭内感染が増えていますので、こまめな換気やマスク着用など、家族で感染を拡げないよう対策しましょう。

◆GWは人の移動による感染拡大が懸念されます。お出かけの際はなるべく密集を避けるなど、感染症対策を徹底しましょう。

◆バランスの良い食事を心がけ、適度な運動をして睡眠も十分にとり、万が一感染しても重症化しない体づくりを心がけましょう。

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

